

低コスト再造林に向けた現地検討会を開催

[東濃署・森林技術・支援センター]

5月15日、東濃署管内の湯舟沢国有林において「低コスト再造林に係わる現地検討会」を開催し、職員ほか請負者を含め13名が参加しました。

今回の検討会は、緩効性肥料を用いたヒノキコンテナ苗による低コスト再造林のための育苗及び初期保育技術の開発のため、七百日の緩効性肥料使用の有無と下刈りの有無による成長を比較する試験地を設定しました。



コンテナ苗用器具で植栽の様子

秋山東濃署長の挨拶の後、森林技術・支援センター三村森林技術普及専門官からコンテナ苗用に開発された器具及び試験地の植栽方法等の説明を受け植栽を実施し、苗木の番号付け及び計測を行いました。

真夏のような天候の中、400本のコンテナ苗の植栽及び計測を無事終了することができました。植栽した苗については今後三年間生長量測定を実施していきます。